

製品名: PSPN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00615**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 17 kDa; Observed MW: 17 kDa

抗原情報

遺伝子名	PSPN
別名	PSPN; Persephin; PSP
遺伝子 ID	5623
SwissProt ID	O60542
免疫原	抗血清はヒト PSPN の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

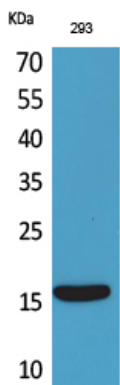
この遺伝子によってコードされるタンパク質は神経栄養因子であり、GDNFファミリーに属します。神経栄養因子は、神経系の適切

な発達と維持に重要です。これらの因子はニューロンの生存を促進し、損傷、毒素への曝露、または神経変性疾患に伴うニューロンの変性を予防します。コードされるタンパク質は、ファミリーの他のメンバーであるグリア細胞株由来神経栄養因子およびニューロトロフィンとアミノ酸配列の類似性を有します。この遺伝子産物は、培養された腹側中脳ドーパミン作動性ニューロンの生存を促進し、in vivo で6-ヒドロキシドーパミン処理後のニューロンの変性を予防します。

研究分野

神経科学

画像データ



PSPN 抗体を使用した 293 溶解物中の PSPN のウエスタン プロット分析。